

04 中村中学校区 英語・外国語活動 課題改善カリキュラム (英語・外国語活動の系統図)

学年	目標	使用教材	扱う表現	「書く」活動	指導上の課題	課題を改善するための留意点
小学校 1, 2 学年	中小：楽しんで英語を発する。 英語での活動を楽しむ。 (年 8 時間)	自作教材	①あいさつ (Hello./Good Bye./Hi./Bye./ How are you?/I' m fine, thank you./ See you.) ②もののやりとり (Here you are./ Thank you.) ③What is this?/ It is~. ④数、色、果物、体の部位、動物、野菜、Alphabet ⑤Let' s~. 動作	活動なし	・英語を話すことに苦手意識をも っている児童がいる。(個人差が ある。)	・歌やリズムに合わせて体を動かしながら、 楽しく活動できる内容を工夫する。 ・聞こえてきたものをそのまま発して良 い、間違えても大丈夫という雰囲気をつくる。
小学校 3 学年	中小・中西：英語を使って友達と の交流を楽しむ。 (2018、2019 は年 35 時間) (2020 以降は年 35 時間)	・「Let' s Try!」 に沿って ・文部科学省が開 発した「新学習 指導要領に対応 した教材」から	①あいさつ Hello, I' m~. /Good bye. /See you. ②How are you? ③How many~? 数、That' s right/Sorry. ④好きなもの Do you like~? /I like~. /Yes, I do. /No, I don' t. ⑤何が好き? What do you like? /What ○○ do you like~? ⑥アルファベット大文字 (A~Z) の読み方 ⑦何が欲しい? What do you want? /Here you are. / Thank you. /You are welcome. /This is for you. ⑧What' s this? /it' s~. ⑨Who are you? /Are you~? /Who am I?	・ローマ字の学習 (国語の中で、3 年生 4 時間)	・ゲームの活動を楽しむことに集 中してしまい、学習のめあてか ら外れてしまうことがある。 ・単元が単発になってしまい、つ ながりをもてない。 ・全体でゲームを楽しむ場面が多 く、教師や子供たち同士のやり とりがやや少ない。 ・回数が少ないこともあり、前回 に学習したことを忘れてしま う。	・英語で話したい、伝えたいと思えるよ うな活動を工夫する。 ・はじめに、先を見通した指導計画を立 てる。 ・教師と全体だけでなく、ペアやグルー プでやりとりをする場面を意識的に設 ける。 ・これまでに学習した表現をもりこんだ 授業構成を考える。
小学校 4 学年			①あいさつ Good morning. /Good afternoon. ②好きな遊び How' s the weather? /It' s sunny. /Let' s~. /Stand up. /Jump. ③曜日の言い方 What day is it? /It' s Monday. ④What time is it? /It' s 8:30. ⑤Do you have a pen? /Yes, I do. /I (don' t) have a pen. ⑥アルファベット小文字 (a~z) の読み方 ⑦何が欲しい? What do you want? ⑧道案内 This is my favorite place. /Go straight. /Turn. /Why? ⑨私の一日 I wake up at 6:00 /I go to school.			
小学校 5 学年	中小・中西：英語を使えることを 楽しむ。 (2018、2019 は年 70 時間) (2020 以降は年 70 時間)	・「We Can!」 に沿って ・文部科学省が開 発した「新学習指 導要領に対応した 教材」から	①アルファベット大文字小文字を読む、自己紹介 Nice to meet you. /My name is ~. ②When is your birthday? 月の名前、序数 ③学校生活、教科、職業 What do you have on Monday? /I study math. /I want to be a teacher. ④1 日の生活 What time do you get up? ⑤できること She can(can' t) run fast, /Can you~? / Yes, I can. /No, I can' t. ⑥行ってみたい国 Where do you want to go? /I want to go Italy. ⑦Where is the treasure? 位置と場所 ⑧What would you like? 丁寧な表現 I' d like spaghetti. ⑨Who is your hero? /He is good at playing tennis. 得意なことや気持ちを伝える。	①自分の名前を書 く。 ②アルファベット 大文字を書く。 ③④⑤時間割や 1 日の生活、スポー ツに関する簡単 な語句を書く。 ④アルファベット 小文字を書く。 ⑥⑦⑧⑨簡単な語 句や基本的な表 現を書く。	・低中学年に比べて、英語ゲーム へのくいつきが悪くなる。 ・個人差が大きくなり、苦手意識 をもつ子供が増えてくる。	・子供が「やりたい」と思える活動を取り 入れる。 ・文法は同じだが単語を変えて活動させ る。 ・一人でも自信をもって発音できるよ うに支援する。 ・全てが聞き取れなくてもジェスチャー や表情、知っている単語を手がかりに 大体の意味が分かれば通じることを伝 える。 ・ALT の言葉は訳さない。
小学校 6 学年			①自己紹介 今までの表現を使って I' m from Shizuoka. /What colors do you like? ②日本の文化 Welcome to japan in winter, we have snow festival. /What food do you have in Japan? /We have soba. ③人物紹介 He is famous. /Who is this? ④私たちの町 I like my town. /We (don' t) have a park. We can see many flowers. ⑤夏休みの思い出 (過去のこと) I enjoyed fishing. /I saw the blue sea. /It was fun. ⑥オリンピック・パラリンピック What do you want to watch? /Are you good at basketball? ⑦小学校の思い出 (過去のこと) What' s your best memory? We went to Kyoto. ⑧What do you want be? 将来の夢、職業 I want to be a pianist. /That' s good. Good luck. ⑨中学校生活・部活動 What club do you want to join? /What event do you want to enjoy?	①語と語の区切り に注意して、自己 紹介の基本的な 表現を書く。 ②③④⑤⑥⑦⑧基 本的な表現を、語 と語の区切りに 注意し、語順を意 識しながら書く。	・表現に慣れ親しむ活動が、ゲー ムの中で機械的に繰り返したり ALT の後に続いて言うだけにな ったりしてしまうことが多く場 面と結びつかない。 ・ALT との個別のやりとり、コミ ュニケーションが少ない。	・場面設定を工夫し、必然性のあるやり とりができるようにする。 ・ALT へのインタビュー活動など、一対 一のコミュニケーションを取る場面を 意識的に設定する。

小→中への接
続に際しての
留意点

・音と言語が
結びつく活動
を取り入れて
ほしい。

・小学校中学
年で語彙を増
やすとよい。

<p>中学校 1 学年 (年 140 時間)</p>	<p>① 自己紹介ができる。相手について質問できる。 ② 近くのものや遠くのものについて話せる。質問できる。初対面の 2 人をたがいに紹介できる。 ③ 自分の好きなことについて話せる。相手のすきなことについて質問できる。 ④ ものの数を数えたり、質問したりできる。何かを指示したり、提案したりすることができる。 ⑤ 知らないものなどについて質問できる。ものの性質や状態などについて話せる。 ⑥ 自分と相手以外の人やものなどについて話せる。またそれらについて質問できる。 ⑦ 知らない人やものなどについて質問できる。時刻などについて質問できる。 ⑧ どこにあるか、だれのものかを質問できる。自分と相手以外の人やものなどについて対話を続けることができる。 ⑨ 今していることについて話したり、質問したりすることができる。相手に何かを禁止したり、注意を促したりすることができる。 ⑩ できることやできないことについて話したり、質問したりすることができる。いつできるかを質問できる。 ⑪ 過去の出来事について話すことができる。過去の出来事について質問できる。</p>	<p>「New horizon」 に沿って</p>	<p>① I am … / You are…, Are you …? / I am not…. ② This[That] is… / Is this [that]…? / He [She] is (not)…. ③ I like[study, play]… / Do you play…? / I do not play…. ④ two lemons / How many rabbits…? / 命令文, Let’ s ⑤ What is…? / … is delicious [good, difficult]. / What do you …? ⑥ Haruki lives… / Does Haruki live …? / Haruki does not talk…. ⑦ Who is …? / What time is it …? / Which do you …? ⑧ Where is …? / Whose book is …? / Do you know him [her]? ⑨ Kota is drinking … / Are you taking …?, What are you doing? / Don’ t…, Be…. ⑩ I can [cannot]… / Can you…? / When can you …? ⑪ I watched… / I came … / Did you …?, I did not….</p>		<p>●発音と表記 (スペリング) の不一致に戸惑いが見られる。 ●英語の書き方 (小文字/大文字の区別、単語と単語の間を空けることなど) が定着しない生徒がいる。 ●実際の場面で活用できるコミュニケーションの能力を付けることを目標にして毎時間の指導を行う必要がある。</p>	<p>●フォニックスを用いて発音と表記の関係性について指導を行う。 ●ノート指導や日々の活動を通して継続的に書き方の指導を行う。 ●言語の知識・理解力を確実に身につけながら、実際の場面を想定した言語運用機会を多く作り、コミュニケーション力の定着を図る</p>
<p>中学校 2 学年 (年 140 時間)</p>	<p>① 自分や友だちについて、以前との違いを説明することができる。 ② 休暇や週末の予定について質問したり、伝えたりすることができる。 ③ 自分の行きたい場所やしたいことなどについて、質問したり伝えたりすることができる。 ④ 決まりごとについて質問したり伝えたりすることができる。 ⑤ 身近な話題について自分の意見を述べ、その理由を述べることができる。 ⑥ 何があるかを質問したり、伝えたりすることができる。 ⑦ あるテーマについて、資料などを用いて比較しながら説明することができる。</p>	<p>「New horizon」 に沿って</p>	<p>① This pen was…, Was this pen…? / I was looking for… / You look happy. ② I am going to visit…, Are you going to visit…? / Show me your passport. / People call it Big Ben. ③ I greet customers to welcome… / I want to be … / I have many things to do. ④ I have to speak …, I do not have to speak… / I will show … / You must help … / You must not eat … ⑤ If you are interested, … / I think (that) … / When you are busy, … / … because it was hot. ⑥ There is …, There are … / Is there …? / We enjoyed listening to <i>rakugo</i>. / Playing soccer is fun. ⑦ Larger than …, the largest … / more popular than …, the most popular … / my best … / as fast as …</p>		<p>・既習事項を使って、まとまりのある文を書くことに抵抗のある生徒がいる。 ・話すことを中心に、コミュニケーションの場面を設定して活動を行う必要がある。 ・文を読み、情報を読み取ることに苦手意識が見られる。</p>	<p>・短文を重ねる形から、徐々に流れのある文が書けるように指導する。 ・ALT と連携しながら、なるべく実際のコミュニケーション場面に近いものを設定して、練習していく。 ・文のトピックを正確に見極められるような教材作り、指導を行っていく。</p>
<p>中学校 3 学年 (年 140 時間)</p>	<p>① ある作品を適切な視点から紹介することができる。 ② 友だちが紹介した人や動物について、聞いた情報をまとめることができる。 ③ 友だちのこれまでの経験についてインタビューをし、その結果を発表することができる。 ④ 自分や友だちについて様々な情報を質問したり伝えたりすることができる。 ⑤ 相手の意見を受けて自分の考えを述べながら、議論することができる。 ⑥ 詳しい情報を加えながら、知っている人やものについて質問したり伝えたりすることができる。</p>	<p>「New horizon」 に沿って</p>	<p>① This painting is loved by… / Was this picture painted by…? / This idea makes me happy. ② I have lived …, He has lived… / (How long) have you known …? / The Amazon has been important… ③ Have you ever heard…? / I have just looked…, Have you looked …yet? / I am surprised to hear…. ④ I know how to protect… / It is necessary for us to prepare… / I want you to pass… ⑤ the boy playing the guitar, the language used in Australia / I know what you mean. ⑥ This is a book I brought… / Deepa is a student who likes… / This is a movie that [which] makes… / This is a book that [which] she wrote….</p>		<p>・学習した直後によく理解したと思われる内容が時間の経過とともに記憶があいまいになる生徒が見られる。 ・実際のコミュニケーション場面で、表現に必要な学習事項が咄嗟に出てこない傾向が見られる。 ・学習上位者と下位者の差が大きい。</p>	<p>・学習事項の定着には、学習のスパイラル (繰り返し) が必要。一定時間をおいた後に、既習事項を織り交ぜた活動を工夫していく。 ・学習事項の導入の工夫とともに、その学習事項を自然に使える活動場면을工夫し設定していく。 ・小テストを活用していく。また、ペア活動での自然な学び合い、教え合いを促していく。</p>